

令和5年度

栄町

子ども模擬議会

会議録

令和5年11月14日(火)

令和5年度 子ども模擬議会会議録目次

(令和5年11月14日)

議事日程	1
出席議員	2
出席説明員	2
開会	3
開議	3
町長あいさつ	3
議席の指定	4
会議録署名議員の指名	4
会期の決定	4
一般質問	4
松永 爽人 議員	4
相原 彩希 議員	7
森 柑菜 議員	8
濱本 優月 議員	10
岡田 直大 議員	12
富井 愛加 議員	14
大野 貴尋 議員	15
川島 柚穂 議員	17
濱本 晴輝 議員	18
橋本 龍一郎 議員	20
岡島 康汰 議員	22
長沼 柚夏 議員	24
城生 海都 議員	26
高安 全 議員	28
芝原 悠爾 議員	29
閉会	32
議事録署名	32

令和5年度 子ども模擬議会議事日程

令和5年11月14日（火）午後2時開会

1 開 会 宣 告

1 開 議 宣 告

1 町 長 あ い さ つ

日 程 第 1 議席の指定

日 程 第 2 会議録署名議員の指名

日 程 第 3 会期の決定

日 程 第 4 一般質問

1 閉 会 宣 告

出席議員（16名） 欠席議員 なし

1. 松永 爽人	竜角寺台小	6年1組
2. 相原 彩希	竜角寺台小	6年1組
3. 森 柑菜	安食小	6年1組
4. 濱本 優月	安食小	6年2組
5. 岡田 直大	布鎌小	6年1組
6. 富井 愛加	布鎌小	6年1組
7. 大野 貴尋	安食台小	6年1組
8. 川島 柚穂	安食台小	6年1組
9. 濱本 晴輝	栄 中	2年1組
10. 橋本 龍一郎	栄 中	2年1組
11. 岡島 康汰	栄 中	2年4組
12. 長沼 柚夏	栄 中	2年2組
13. 城生 海都	栄 中	2年3組
14. 高安 全	栄 中	2年2組
15. 芝原 悠爾	栄 中	2年2組
16. 五木田 莉音	栄 中	2年3組 議長

出席説明員名簿（20名）

町長	橋本 浩	福祉・子ども課長	伊藤 寧章
副町長	古川 正彦	下水道課長	岡田 暢生
参事兼総務政策課長	本橋 義正	会計管理者	早野 恵美子
参事兼くらし安全課長	奥野 陽一	教育長	藤ヶ崎 功
企画財政課長	加瀬 雅弘	教育次長	勝田 博之
経済環境課長	大野 茂夫	教育課長	西宮 信吾
都市建設課長	長澤 康幸	給食センター長	由井 茂
税務課長	岩井 充雄	生涯学習課長	稲葉 正和
住民課長	金子 治	参事兼消防長	丸 彦衛
健康介護課長	稲葉 彰司	消防総務課長	小川 高司

協力

栄町立安食小学校
栄町立安食台小学校
栄町立栄中学校

栄町立布鎌小学校
栄町立竜角寺台小学校

議会事務局

議会事務局長 藤江 直樹 書記 春藤 幸夫

担当

教育委員会教育課

<p>●藤江議会事務局長</p>	<p>起立。礼。着席。 皆さん、こんにちは。私は、議会事務局長の藤江と申します。令和5年度「子ども模擬議会」の開会前に先立ち連絡事項を申し上げます。 はじめに、本日の議員の皆様をご紹介します。 本日の議員は、安食小学校から2名、布鎌小学校から2名、安食台小学校から2名、竜角寺台小学校から2名、栄中学校から8名、計16名の小学生及び中学生議員が参集されております。 なお、氏名のご紹介は、お手元に配付いたしました議員名簿により、ご紹介に代えさせていただきます。 次に、説明員の紹介をいたします。本日は、町長、副町長、教育長をはじめ、各課長を含め20名出席しております。氏名の紹介は、「説明員名簿」により紹介に代えさせていただきます。次に、本日の議長をご紹介します。 議長には、栄中学校2年3組の五木田莉音さんが選出されておりますので、ご紹介いたします。 以上で、連絡事項といたします。 それでは、五木田議長、議長席にお着きください。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>はい。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>【五木田 議長 着席】 私は、本日の子ども模擬議会の議長を務めさせていただきます、栄中学校2年3組の五木田 莉音です。</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>よろしく願いいたします。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>＜開会宣告＞</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>ただいまから令和5年度子ども模擬議会を開会いたします。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>＜開議宣告＞</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>ただちに本日の会議を開きます。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>ここで、橋本町長からごあいさつをいただきます。</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>議長。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>橋本町長。</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>＜町長あいさつ＞</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>小・中学生の子ども議員の皆さん、こんにちは。ただいま、五木田議長よりご紹介いただきました、町長の橋本でございます。</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>本日は、この議場において令和5年度「子ども模擬議会」を開催するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>始めに、この模擬議会は、体験学習の一環として、普段皆さんが、この町で生活する上で感じた身近なことや素朴な疑問点、あるいはこの町を活気づけるためのご要望やご提案などを伺い、皆さんの地域に対する関心を高めることを目的に、本日小・中学生で開催されるようになってから、はや第9回目を迎えたところでございます。</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>この時期皆さんにおかれましては、日々の学習や運動などで、日々忙しく過ごされている中、ご参加いただきまして誠にありが</p>

とうございます。また、各小・中学校の校長先生を始め、諸先生方におかれましても、学校行事や授業等で何かとご多用にもかかわらず、ご理解とご協力をいただきましたことをこの場をお借りいたしまして、改めてお礼申し上げます。

さて、皆さんから事前に提出された一般質問通告書のご意見・ご要望・ご提案などを拝見いたしました。栄町の人口に関するご質問をはじめ、防災、SDGs、公共交通、地域との協働、税金に使い方に至るまで、皆さんの町への関心の高さ、また、その質問の視点の鋭さに感心しました。私と同様に、本日傍聴されております町民の皆さんも、大変心強く思われることでしょう。

この後早速、皆さんからの一般質問による答弁を行います。この議場の雰囲気にもまれることなく、リラックスして、栄町をよりよくするという熱い思いを我々にぶつけるように大きな声で発言していただけるようお願いいたします。

最後になりますが、本日、この議場における体験が、皆さんにとって有意義で、忘れることのない貴重な思い出になることを期待いたしまして、あいさついたします。

今日はよろしくお願いいたします。

●五木田議長

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

＜議席の指定について＞

●五木田議長

日程第1、議席の指定を行います。議席は、ただいま各議員着席のとおり指定いたします。

＜会議録署名議員の指名について＞

●五木田議長

日程第2、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、議席番号十四番、栄中学校、高安全さん及び、議席番号十五番、栄中学校、芝原悠爾さんを指名いたします。

＜会期の決定について＞

●五木田議長

日程第3、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。本議会の会期は、本日一日にしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

全員 「異議なし」

●五木田議長

異議なしと認めます。よって、本議会の会期は、本日一日に決定いたしました。

＜一般質問＞

●五木田議長

日程第4、一般質問を行います。本議会における質問時間は、町執行部説明員の答弁を含めて、6分以内といたします。議席順にしたがい、質問を許します。

初めに、議員番号1番、竜角寺台小学校、松永爽人さんの発言を許します。松永爽人さん、質問者席に移動ねがいます。

●松永議員

はい。議席番号1番、竜角寺台小学校、松永爽人です。それでは、質問させていただきます。

日々、魅力ある町づくりに取り組んでいただきありがとうございます。

- 橋本町長
- 五木田議長
- 橋本町長

います。私が考える栄町の魅力は、2つあります。1つめは、自然豊かであることです。緑が多く、水に囲まれているため、空気が澄んでいて自分の心もきれいになります。2つめは、楽しい学校があることです。学校に行くとともに幸せな気持ちになります。広い学校で友達や先生たちと楽しく遊ぶことができ、毎日楽しく過ごせています。

しかし、こんなにも魅力がある栄町ですが、人口が近年減少し続けています。そこで、人口減少を防ぐために「千葉県印旛郡栄町人口ビジョン」を掲げていると思いますが、具体的にどのような取組を行っているのでしょうか。教えていただきたいです。

議長。

橋本町長。

それでは、松永爽人議員のご質問について、お答えいたします。

平成25年に国立社会保障・人口問題研究所が公表した市町村別の将来の人口推計によれば、栄町の人口は減少が続き、2040年には約13,000人まで減少すると見込まれ、これを受けた民間の研究機関は20代から30代の若い女性が約77%減少すると発表しました。自治体消滅の可能性が千葉県内でNo.1という衝撃的な新聞報道がなされました。

また、町の人口年齢構造は、高齢者が多く若い世代が少ないという極端に偏った状況になっています。

そのため町では、このような人口の現状と課題を整理し、将来人口を展望した人口ビジョンを策定したところですが、令和2年3月に改定した人口ビジョンにおいては、若い世代の転入促進と転出抑制などにより、人口の減少スピードをゆるやかにするとともに、人口の年齢構造を変えることを基本目標に掲げ、持続性のある町づくりを進めることとしています。

その基本的な考え方は、1つとして「安心して子育てができる栄町をつくる」、2つとして「地域特性を生かし、産業が活性化した栄町をつくる」、3つとして「若者をはじめ誰もが住みやすい栄町をつくる」という3つの戦略に基づき様々な取組みを、進めてきたところです。

その結果として、転入数から転出数を差し引いた社会増減が、平成23年度当時、マイナス223人だったものが、令和3年度には24年ぶりにプラス10人となり、令和4年度ではプラス104人、そして今年度の4～7月の集計ではプラス89人となっています。

しかしながら、出生数の減少や高齢化などの影響により、人口そのものは減少傾向にあるため、松永議員が考えている栄町の魅力をもっと発信するとともに、引き続き安心して子育てしやすい環境や子育て世代の転入者を増加させる取組みを速やかに実施していくことにより、人口の年齢構造を変え持続性のある栄町づくりを進めてまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

<p>●松永議員 ●五木田議長 ●松永議員</p>	<p>議長。 松永爽人さん。 ご回答ありがとうございます。 魅力ある町づくりにするために、人口ビジョンの取組を進めていただきましてありがとうございます。その中の取組にある「若者をはじめ誰もが住みやすい栄町をつくる」についてもう少し詳しく知りたいです。具体的な内容を教えていただきたいです。よろしく願いいたします。</p>
<p>●企画財政課長 ●五木田議長 ●企画財政課長</p>	<p>議長。 企画財政課長。 それでは、ただいまの質問にお答えいたします。 誰もが住みやすい栄町をつくり、若い世代の転入者を増やしていくため、町ではさまざまな取組を進めています。 誰もが住みやすい町としていくために、安食駅がより利用しやすくなるようにJR東日本との話し合いや増発等の要望、安食交差点の渋滞解消などの国道や県道の整備促進、町内や成田空港、町周辺の就職情報をホームページへ掲載するなどを積極的に行っているところです。 また、出産する方への産前・産後サポート事業、赤ちゃんの出産祝い金、親子で安心して利用できるキッズランドの運営、子育て相談をLINEで行うほか、高校生までの子ども医療費助成、第3子以降の給食費を無料とすることなど、子育てをする方への支援に力を入れています。 その他、デジタル化の推進として、SNSを活用して町の情報の提供、キッズランドや子どもの健診などの予約が可能となっておりますが、今後は役場に来なくても、施設の予約や申請手続きができるよう、進めていきたいと考えています。 次に、転入者支援として、定住・移住奨励金制度を行っており、さらに中学生以下のお子さんがある場合は、奨励金が加算されます。また、一度町外に子どもが転出して栄町に帰ってきた場合、親に支援金を交付する制度などがあります。 次に、若い世代の結婚新生活の応援として、結婚後の住宅購入費やアパート等の家賃・引っ越しに掛かった費用の補助を行っています。 今後も、誰もが住みやすい栄町をつくるよう努めてまいります。</p>
<p>●松永議員 ●五木田議長 ●松永議員</p> <p>●五木田議長</p>	<p>以上、答弁といたします。 議長。 松永爽人さん。 「千葉県印旛郡栄町人口ビジョン」の説明ありがとうございます。町として取り組んでくださっていることに感謝します。自分でもできることに取り組んでいきたいと思えます。 これで、松永爽人さんの一般質問を終わります。松永さん、自席にお戻りください。</p>

<p>●相原議員</p>	<p>次に、議員番号2番、竜角寺台小学校、相原彩希さんの発言を許します。相原彩希さん、質問者席に移動ねがいます。</p> <p>はい。議席番号2番、竜角寺台小学校、相原彩希です。それでは、質問させていただきます。</p> <p>私たち町民のために住みやすい環境づくりに、日々励んでくださりありがとうございます。道路の舗装や公園の改装などを行ってくださっているため、安心して道路を歩いたり、公園で遊んだりすることができています。</p> <p>しかし、路線バス、町循環バスの本数や方面に少し不便さを感じています。路線バス、循環バスなどの交通手段について、町としては住民のためにどのようにお考えでしょうか。</p>
<p>●橋本町長 ●五木田議長 ●橋本町長</p>	<p>議長。 橋本町長。</p> <p>それでは、相原彩希議員のご質問にお答えいたします。</p> <p>栄町の公共交通全体の状況としては、路線バス、循環バスの他、鉄道やタクシーなどが運行しています。その利用者数は、人口減少や自家用車の普及により、減少傾向にあります。</p> <p>一方で、高齢化の進展や運転免許証を返納する方の増加などから、公共交通の役割はこれまで以上に重要になると考えています。</p> <p>そこで、鉄道やバス、タクシーを運行する事業者、警察等の関係行政機関、住民の代表者などを委員とする栄町地域公共交通会議や、町民の方からのご意見等を踏まえ、令和5年3月に「栄町地域公共交通計画」を策定いたしました。</p> <p>この計画は、今後の人口減少や高齢化を見据えつつ、栄町にあった公共交通のあり方を検討するとともに、町民の誰もが将来にわたり、安心して暮らし続けられるように、様々な公共交通を効率的に持続させていくための方向性を示したものです。</p> <p>今年度からは、本計画に基づき、路線バスと循環バスのルートなどの見直しや、電車との乗り継ぎがしやすくなるような調整、事前予約をして目的地に行くデマンド交通システムの導入など、具体的な取組について、事業者との調整や協議を進めているところです。</p> <p>また、県道鎌ヶ谷本埜線バイパスの開通後には、印旛日本医大駅方面への、バス運行の実証実験を開始してまいります。</p> <p>なお、バスルートの見直しや、新たな公共交通の導入にあたりましては、係る費用やそれに対する利用者数の想定などを十分検討したうえで、町全体として、町民にとってより利便性の高い公共交通となるようにしていきたいと考えています。</p> <p>以上、答弁とさせていただきます。</p>
<p>●相原議員 ●五木田議長 ●相原議員</p>	<p>議長。 相原彩希さん。</p> <p>ご回答ありがとうございました。</p> <p>バスのルートの見直しや電車との乗り継ぎ調整、デマンド交通</p>

<p>●企画財政課長 ●五木田議長 ●企画財政課長</p>	<p>システムの導入などの取組を進めていただき、ありがとうございます。デマンド交通システムについてですが、具体的にどういう取組なのか、それを導入することによってどのような利点があるのか教えていただきたいです。よろしく願いいたします。</p> <p>議長。 企画財政課長。 それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。 まず、一般のタクシーは、必要な時に自宅前等に呼んだり、駅前等のタクシー乗り場で乗車したり、目的地に直接向かいます。 これに対しデマンド交通システムは、他の市町村では、事前に予約を行い、自宅前などから乗車し、他の予約した人の乗車場所を回って乗り合い、駅や病院、買い物等の目的地に直接行くことができる交通システムをいいます。 具体的な内容は、各市町村で異なりますが、乗車場所について、自宅前から乗車できるもの又は各地区にバス停のように乗車場所を定めているものがあり、乗車料金については、タクシーのように距離によって増えていくわけではなく、1回300円や500円など料金は低額となっています。 また、使用する車両は、ワゴン車などバスより小さい車なため、導入する自治体が増えています。 デマンド交通を運行する利点として、路線バスや循環バスが走っていない地域に導入することで、時刻表によらず自由に時間を気にせず買い物や病院等へ行く際に大変便利になると考えています。</p>
<p>●相原議員 ●五木田議長 ●相原議員</p>	<p>以上、答弁といたします。 議長。 相原彩希さん。 栄町の交通状況について説明ありがとうございました。デマンド交通システムについても理解することができました。これで質問を終わります。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>これで、相原彩希さんの一般質問を終わります。相原さん、自席にお戻りください。</p> <p>次に、議席番号3番、安食小学校、森柑菜さんの発言を許します。森柑菜さん、質問者席に移動をお願いします。</p>
<p>●森議員</p>	<p>はい。議席番号3番、安食小学校、森柑菜です。それでは、質問をさせていただきます。 社会科の学習でSDGsについて学び、国内各地でも環境を守るための様々な取り組みがあることを知りました。その中で私たち小学生でも取り組めることがたくさんありました。栄町では、環境を守るためにどのようなリサイクルに取り組んでいますか。もし、その中で私たち小学生でも取り組める活動があれば教えてください。</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>議長。</p>

<p>●五木田議長 ●橋本町長</p>	<p>橋本町長。 それでは、森柑菜議員のご質問にお答えいたします。 町では、リサイクルの取組として、安食台・酒直台・竜角寺台の3地区で、生ごみを「燃えるごみ」としてではなく、「資源」として捉え、回収した生ごみをたい肥化して、肥料として再利用する「生ごみ集団資源回収モデル事業」を実施しています。 また、地域でビン、缶、新聞紙、段ボール、雑誌などを回収して資源物として有効に役立てるリサイクル活動を行っている子ども会、自治会、シルバークラブ、小中学校PTAなどの団体を支援する取り組みを行っています。 その他、ペットボトル、缶、瓶、紙類など、きちんと種類ごとに分別し、リサイクルできる資源物とするために町の広報紙やホームページで啓発しています。 なお、分別して回収した資源物は、裁断したり、溶かしたりしてリサイクルの原料となり、リサイクル製品として生まれ変わります。 森議員や児童・生徒の皆さんが取り組めるリサイクル活動ですが、先ほど、お答えした「ごみの分別」が第一歩となりますので、栄町のごみの分別方法を良く理解していただき、分別に取り組んでいただければと思います。また、リサイクル活動が行われている地域もありますので、積極的に活動に参加したり、何か購入する時には、リサイクル製品を選ぶことも皆さんが取り組める活動となります。 是非、ご家庭で実践していただければと思います。 以上、答弁とさせていただきます。</p>
<p>●森議員 ●五木田議長 ●森議員</p>	<p>議長。 森柑菜さん。 ご回答いただきありがとうございます。 安食台、酒直台、竜角寺台地区で、生ごみをたい肥化する事業を行っていることを初めて知りました。そこで質問なのですが、生ごみを肥料として再利用する「生ごみ集団資源事業」の内容について、もう少し詳しく説明してください。また3地区で行われているということですが、今後、安食地区でも行う可能性はありますか。よろしくお願いします。</p>
<p>●経済環境課長 ●五木田議長 ●経済環境課長</p>	<p>議長。 経済環境課長。 それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。 「生ごみ集団資源事業」については、生ごみを堆肥の原料となる資源物として回収、再生することで、ごみの減量化を図るもので、令和2年度に竜角寺台自治会の協力を得てスタートし、その後、酒直台自治会や安食台地区のそれぞれの自治会の協力を得てモデル事業として行っております。 地区内世帯の家庭から出る残飯や野菜くずなどを袋に入れていただき、各自治会の集団資源の回収日に集積所へ設置した生ご</p>

<p>●森議員 ●五木田議長 ●森議員</p> <p>●五木田議長</p> <p>●濱本議員</p> <p>●橋本町長 ●五木田議長 ●橋本町長</p>	<p>み専用コンテナボックスの中に置いていただくものです。</p> <p>集めた生ごみは、町内の民間堆肥施設で堆肥化され、出来上がった堆肥は、事業者のご厚意により希望があれば地域の花植えや家庭菜園などに活用していただくよう無償で提供しています。</p> <p>なお、今後、安食地区で行う可能性につきましては、集積所から生ごみを回収するため、カラスによる生ごみの散乱や生ごみの汁など周辺の方に悪影響を及ぼさないように集積所を管理していただく必要があります。なお、各集積所の管理については、利用者の方々で行っていただいていることから、地域の中で同意をいただき、なおかつ地域の自治会のご協力をいただければ、実施していきたいと考えています。</p> <p>以上、答弁といたします。</p> <p>議長。 森柑菜さん。</p> <p>SDGs についてのご回答ありがとうございました。私もSDGs について考えを深めたいと思います。これで質問を終わります。</p> <p>これで森柑菜さんの一般質問を終わります。森さん、自席にお戻りください。</p> <p>次に、議席番号4番、安食小学校、濱本優月さんの発言を許します。濱本優月さん、質問者席に移動をお願いします。</p> <p>はい。議席番号4番、安食小学校、濱本優月です。それでは、質問させていただきます。</p> <p>先日、租税教室で税金について学習し、税金の大切さを改めて知ることができました。税務課のみなさん、わかりやすい授業をしてくださり、ありがとうございました。</p> <p>栄町では、税金の使い方について議会で話し合われていると学習しましたが、実際に栄町の住民のため、また、住みやすい町にするため、どのようなことに税金が使われているのでしょうか。</p> <p>議長。 橋本町長。</p> <p>それでは、濱本優月議員のご質問にお答えいたします。</p> <p>税金の使い方については、町を運営し、住民の皆さんが、健康で快適な環境のもと、安心して生活をするための予算案をつくり、議会で話し合って決めています。</p> <p>その内容としては、様々な事業の費用が計上されていますが、まずは、皆さんの身近なところから、主なものを説明いたします。</p> <p>はじめに、皆さんの学習環境を整えるため、パソコンの借上料や学校・体育館、ふれあいプラザさかえなどの修理費や照明、エアコンなどの電気代、また、給食の調理や配送をするための経費などに使っています。</p> <p>次に、子どもからお年寄りまでの福祉・医療・介護などへの使い方としては、保育園や放課後児童クラブの運営費、児童手当の</p>
--	---

費用、子育て世帯の医療費、障がいのある方の介護や施設を利用する費用、また、インフルエンザや新型コロナウイルスワクチンなどの予防接種の経費に使っています。

次に、皆さんが日常生活をするうえで必要なごみを処理するための経費、また、通学路などの道路整備や下水・雨水の処理の経費などに使っています。

最後に、火災や災害から住民の皆さんを守るための消防車や救急車などの整備や災害情報をお知らせするための防災行政無線の管理経費などに使っています。

これらの分野以外でも、住民の皆さんが安心して、住みやすい町にするため、様々な事業に税金は使われています。栄町の未来を豊かなものにするために、これからも税金を適切に使い、町全体の発展に努めてまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

濱本優月さん。

ご回答いただきありがとうございます。

私たちが快適で安心な生活ができるように税金が使われていることを知りました。学校のためにも税金が活用されていることも知り、物を大切にしていこうと思いました。

そこで質問なのですが、税金の使われ方について議会で話し合っていて決定していると聞きましたが、町民の要望はどこで、どのように取り入れて決めるようにしているのですか。よろしく願いします。

議長。

企画財政課長。

それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

町民の要望はどこで、どのように取り入れて決めているかのご質問ですが、様々な事業は、町の基本計画に基づき実施しています。

この基本計画を作るにあたっては、先ず、町民2,000名を対象とした町民意識調査及び様々な団体の方や町内の若者会議などで直接ご意見やご要望をお伺いし、それらを踏まえ、基本計画の素案をまとめています。

そして、その素案をホームページなどで公表し、町民の方からご意見をお伺いしております。

その後、素案へのご意見やご要望を踏まえ基本計画の原案を作成し、専門的な知識のある方や、子育て・健康・農業・観光など各分野の方、町民の代表の方などで構成される「栄町政策審議会」の会議でご意見を伺い、町の基本計画として、決定しています。

また、子ども議会でいただいた意見を取り入れて安食小学校のグラウンドを改修して、昨日落成式を行ったところですが、新たに、町長が小学校6年生と給食を食べながら交流を図り、6年生の皆さんの率直な考えや意見をお聴きしています。

●濱本議員

●五木田議長

●濱本議員

●企画財政課長

●五木田議長

●企画財政課長

<p>●濱本議員 ●五木田議長 ●濱本議員</p>	<p>今後も、税金が有効に活用できるよう、町民の皆さんのご意見を伺いながら、「子どもから高齢者まで全ての町民が、将来に向かって健康で安心して暮らすことができる住みやすいまち」をつくるよう、努めてまいります。</p> <p>以上、答弁とさせていただきます。</p> <p>議長。</p> <p>濱本優月さん。</p> <p>税金の使い方についての説明ありがとうございました。税金の必要性がよくわかりました。これで質問を終わります。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>これで濱本優月さんの一般質問を終わります。濱本さん、自席にお戻りください。</p>
<p>●岡田議員</p>	<p>次に、議席番号5番、布鎌小学校、岡田直大さんの発言を許します。岡田直大さん、質問者席に移動をお願いします。</p> <p>はい、議席番号5番、布鎌小学校、岡田直大です。それでは、質問させていただきます。</p> <p>布鎌小学校のグラウンドは自然が豊かでたくさんの生き物や植物を見ることができます。休み時間にはたくさんの児童が外遊びを楽しんでいます。また、春には陸上大会に向けてグラウンドで陸上練習に取り組んでいます。</p> <p>陸上練習のリレーで走っている時に雑草が生えていたり、グラウンドの土がぼこぼこしていたりして走りにくかったことがあります。先生方や体育委員会を中心に定期的に除草作業やグラウンド整備を行っているのですがなかなか全てをきれいにすることはできません。</p> <p>そこで質問をします。グラウンドを整備し、雑草が生えてこないような土にしていきたいと思うのですがいかがでしょうか？</p>
<p>●藤ヶ崎教育長 ●五木田議長 ●藤ヶ崎教育長</p>	<p>議長。</p> <p>藤ヶ崎教育長。</p> <p>それでは、岡田直大議員のご質問にお答えいたします。</p> <p>布鎌小学校の校庭は、議員がおっしゃるとおり、現在草が生えているグラウンドになっております。</p> <p>グラウンドに雑草が増えてしまう原因は、大きく2つの理由が考えられます。</p> <p>1つとして、雑草の成長スピードの方が、除草作業やグラウンド整備作業より早いこと。</p> <p>2つとして、グラウンドの使用頻度が少なく、雑草が生えやすい状況にあることがあげられます。</p> <p>雑草が生えてこないような土にしていきたいとのご要望ですが、雑草が生えてこない土はなく、グラウンド改修工事には、多大な費用及び時間がかかることから、学校の校舎・体育館・グラウンドなどの施設整備につきましては、計画的に進めており、早急な対応は難しいと考えております。</p>

布鎌小学校のグラウンドの様な草(天然芝)のグラウンドの特徴として、転んだ時の痛みをやわらげたりけがの発生を防ぎ、見た目にも美しく、温度上昇を抑えたり、砂ぼこりの飛散防止など機能性の高い素晴らしいものです。

ただし、維持管理は不可欠で、先生方や児童のみなさん、PTAやふれあい推進員のみなさんのご協力により、草刈や整備を行っていただいていることは把握しております。

今後も先生方とも相談しながら引き続き除草作業や整備に取り組んでほしいと思います。その際に必要な道具等の不足がある場合は、相談してください。

教育委員会としましては、平成10年にグラウンド全面改修工事を実施し、令和4年3月には、学校の要望により新しい草刈り機を購入しています。また、よりよい状況を継続して維持し、計画的なメンテナンス作業ができるように、取り組んでいきたいと考えています。

以上、答弁いたします。

議長。

岡田直大さん。

ご回答ありがとうございます。天然芝であるグラウンドの良さについて初めて知ることができました。これからも自然豊かな布鎌小学校のグラウンドを大切に使い続けていきたいと思います。

そこで質問です。必要な道具等の不足ある場合は相談してくださいとあるのですが、どのような道具や機械があるのか詳しく教えてください。

議長。

教育課長。

それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

現在、布鎌小学校が使用しているグラウンド整備や除草作業で使用されている道具について確認をしました。

人の力で使用する道具としては、草を刈るための道具に「鎌」があります。刈った草を集める道具として「熊手」「集草フォーク」「テミ」、運搬する道具として「リヤカー」「一輪車」があります。また、先生方や保護者の方が使用できる「肩掛け式刈り払い機」「自走式草刈り機」があります。

また、グラウンドを整備するための道具として「トンボ」「グラウンドブラシ」「スコップ」があります。

学校で作業を実施するための道具としては、町内の他の小中学校と同様に十分に種類はそろっていると考えられます。たださらに、今年度150周年記念事業実行委員会から肩掛け式刈り払い機3台を寄贈していただいたと聞いております。

今後も道具が古くなって使いにくくなったり、壊れてしまったりした場合や数が不足して作業の効率が悪い場合などは相談をしてください。

また、学校の行事等で大がかりな整備が必要な場合は、役場の

- 岡田議員
- 五木田議長
- 岡田議員

- 教育課長
- 五木田議長
- 教育課長

<p>●富井議員 ●五木田議長 ●富井議員</p>	<p>自然が豊かで住みやすい環境は、栄町の自慢の一つです。町民の方々の生活環境を悪化させないように、引き続き良好な生活環境の確保に努めてまいります。以上、答弁とさせていただきます。議長。富井愛加さん。ご回答ありがとうございます。今後は騒音がひどいときには警察に連絡して対応してもらいたいと思います。</p>
<p>●都市建設課長 ●五木田議長 ●都市建設課長</p>	<p>そこで質問です。舗装の痛みや段差がある場合は、道路の補修を千葉県印旛土木事務所に連絡しているということですが、道路の点検はどのように実施しているのか教えてください。議長。都市建設課長。それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。町では、定期的に道路の点検を行っております。その点検方法としては、1つとして、職員による道路パトロールがあります。実施にあたっては、町内をブロックに分けて週1回、主に比較的交通量の多い町道を優先的に点検し、併せて国道356号についても点検を行っています。2つとして、年2回の教育委員会、PTA連絡協議会、警察署、道路管理者などで構成される「栄町通学路安全推進会議」で通学路交通安全プログラム点検を行っています。これらの点検結果を基に、町が管理する道路については町が修繕などを行い、千葉県が管理する道路については千葉県印旛土木事務所へ点検結果を連絡し修繕などを行っていただいています。なお、千葉県印旛土木事務所でも定期的な点検を行っている聞いております。このように点検結果を基に道路修繕を行っておりますが、富井議員をはじめ児童、生徒の皆さんにも、気になる箇所がありましたら学校を通じ情報提供いただければと思います。以上、答弁とさせていただきます。議長。</p>
<p>●富井議員 ●五木田議長 ●富井議員</p>	<p>富井愛加さん。道路整備についてのご回答ありがとうございました。これで質問を終わります。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>これで、富井愛加さんの一般質問を終わります。富井さん、自席にお戻りください。</p>
<p>●大野議員</p>	<p>次に、議席番号7番、安食台小学校、大野貴尋さんの発言を許します。大野貴尋さん、質問者席に移動をお願いします。はい。議席番号7番、安食台小学校、大野貴尋です。それでは、質問させていただきます。ぼくたちの学校では、夏の体育の授業で、町営プールを利用して、楽しく学習しています。町のバスで移動し、時間の調整など</p>

<p>●藤ヶ崎教育長 ●五木田議長 ●藤ヶ崎教育長</p> <p>●大野議員 ●五木田議長 ●大野議員</p> <p>●教育課長 ●五木田議長 ●教育課長</p> <p>●大野議員</p>	<p>を先生方が行ってくれています。しかし、町営プールは、老朽化しているようで、プールサイドが傷んでいるところがあり、サンダルを履かないと、けがをしてしまう危険性があります。また、雨が降ると水泳の回数が減るということを先生から聞きました。</p> <p>そこで、プールの時間を確保していただくため、印西温水プールを利用できないでしょうか。印西温水プールは、生活から出るゴミを燃やした熱を利用し、温水プールとして開放しているので、僕たちもリサイクルなどを学べる機会になると思います。</p> <p>議長。 藤ヶ崎教育長。 それでは、大野貴尋議員のご質問にお答えいたします。 新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた水泳の授業が、4年ぶりに再開され、楽しかったということで、うれしく思います。</p> <p>ご質問にあった、室内プールの使用についてですが、教育委員会としても近隣の市町を参考にして、より効果的で効率よく水泳指導が行えるよう調査しているところです。議員のおっしゃる印西温水プールももちろん素晴らしい施設ではありますが、例えば、議員が通っている安食台小学校から印西温水プールまで行くのに、移動にかかる時間が今よりも多くなってしまふことから、他の学習時間にも影響するなどの課題があります。どのような方法で皆さんの楽しい水泳学習がしっかり確保できるか、学校と相談していきます。</p> <p>以上、答弁といたします。 議長。 大野貴尋さん。 ご回答いただきありがとうございます。室内プールについては、印西市小林にも温水プールがあると聞きました。インターネットで調べたところ、安食台小から移動でかかる時間も、町民プールに移動する時間とほぼ一緒です。こういった室内プールの利用についてどのように検討しているか教えてください。</p> <p>議長。 教育課長。 それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。 ご質問にあるように、印西市小林には室内プールを所有する民間のスイミングスクールがあります。夏休み中に、スイミングスクールの担当の方と連絡をとり、体育科の水泳の授業を実施した場合の費用や指導者等について、お話を伺ってきました。</p> <p>今後、伺った内容を踏まえ、町民プールの適切な改修や効果的な活用方法をはじめ、室内プールを使用していくことのメリットやデメリット等を話し合い、様々な選択肢の中から、皆さんの安全で楽しい水泳学習について検討を重ねてまいります。</p> <p>以上、答弁とさせていただきます。 議長。</p>
--	--

<p>●五木田議長 ●大野議員</p>	<p>大野貴尋さん。 印西温水プールについてのご回答ありがとうございました。これからも貴重な水泳の時間の確保をお願いします。これで質問を終わります。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>これで、大野貴尋さんの一般質問を終わります。大野さん、自席にお戻りください。</p>
<p>●川島議員</p>	<p>次に、議席番号8番、安食台小学校、川島柚穂さんの発言を許します。川島柚穂さん、質問者席に移動をお願いします。</p>
	<p>はい。議席番号8番、安食台小学校、川島柚穂です。それでは、質問させていただきます。</p>
	<p>JR 安食駅の電車は、1本のがすとなかなか来ない時間帯があり、高校生の姉も大変困っています。私もいずれ、安食駅を利用して高校に通うかもしれません。電車の本数を増やすよう、町からJRへ要望していただけないでしょうか。</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>議長。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>橋本町長。</p>
<p>●橋本町長</p>	<p>それでは、川島柚穂議員のご質問にお答えいたします。</p>
	<p>成田線の電車の本数の増発については、利用者の利便性の向上や町の活性化のために、重要な課題であると考えております。</p>
	<p>このことは、栄町だけでなく、我孫子～成田間の成田線の沿線7市町も同様に課題として考えていることから、「成田線（我孫子～成田間）活性化協議会」を組織し、成田線の増発や我孫子駅や成田駅での乗り継ぎ時間の短縮等について、毎年、東日本旅客鉄道（JR 東日本）株式会社首都圏本部及び千葉支社に対して要望活動を実施しています。</p>
	<p>その他、活性化事業として、沿線地域で活動する市民団体やJR 東日本と連携して、駅から自然や歴史を満喫するハイキング、駅周辺の清掃活動を行うクリーンアップ事業、SNS を利用して駅や成田線の写真展の開催などを行っています。</p>
	<p>さらに、本年度は町独自の取組として、JR 成田駅の駅長と要望も含めた意見交換を行い、少しでも安食駅の利便性向上に繋がるよう努めているところです。</p>
	<p>しかしながら、人口減少等により乗降客数が減少する中での増発の要望については、JR 東日本からの回答では現状大変厳しいところもございます。そこで、乗降客数が増えるように、町では、若い世代の転出抑制と転入者を増やすために、新たな住宅開発や大学生への通学定期代の補助などの対策を実施しているところです。</p>
	<p>今後も、引き続き JR 東日本に対し要望活動を行い、住民の皆様の利便性向上を目指してまいります。</p>
	<p>以上、答弁とさせていただきます。</p>
<p>●川島議員</p>	<p>議長。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>川島柚穂さん。</p>

●川島議員	<p>ご回答いただきありがとうございます。人口減少等により乗降客数が減少する中での増発が大変厳しいという点、理解しました。増発が無理なら、せめて、始発を少し早い時間にしていただくことは可能でしょうか。よろしく願いいたします。</p>
●企画財政課長	議長。
●五木田議長	企画財政課長。
●企画財政課長	<p>それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。</p>
	<p>現在の JR 成田線の始発時間は、我孫子・上野方面への上り線は安食発 4 時 5 8 分、成田方面への下りは安食発 6 時 4 分となっています。</p>
	<p>始発駅から安食駅までの運行距離の関係で、下りが約 1 時間遅い運行状況です。</p>
	<p>町ではこれまで、JR 東日本に対して継続して要望活動を行ってきたところですが、増発や乗り継ぎの接続改善については要望しているものの、現在の始発時間を早めることについては具体的に要望していませんでしたので、改めて積極的に要望していきたいと考えています。</p>
	<p>なお、今後町では、成田スカイアクセス線印旛日本医大駅方面へのバスの実験運行を考えているところです。</p>
	<p>以上、答弁とさせていただきます。</p>
●川島議員	議長。
●五木田議長	川島柚穂さん。
●川島議員	<p>JR 安食駅についてのご回答ありがとうございました。今日、ご回答いただいたことを姉にも伝えてみようと思います。これで質問を終わります。</p>
●五木田議長	<p>これで、川島柚穂さんの一般質問を終わります。川島さん、自席にお戻りください。</p>
	<p>ここで、10分間の休憩といたします。</p>
	<p>15時10分からの再開とします。</p>
	<p>(休 憩)</p>
●五木田議長	<p>休憩前に引き続き、会議を開きます。</p>
	<p>議席番号9番、栄中学校、瀨本晴輝さんの発言を許します。瀨本晴輝さん、質問者席に移動をお願いします。</p>
●瀨本議員	<p>議席番号9番、栄中学校、瀨本晴輝です。それでは質問します。</p>
	<p>普段から母が「栄町にはごみ処理場がない」と言っていて、そのことについて気になりました。他の市町村には、ごみ処理場があることが多いのに、栄町にないのはなぜなのかなと思いました。人口の少なさや、他の事業のことで手一杯など、なにか理由があるのでしょうか。</p>
●橋本町長	議長。
●五木田議長	橋本町長。
●橋本町長	<p>それでは、瀨本晴輝議員のご質問にお答えいたします。</p>

ごみ処理につきましては、市町村が単独で、または、複数の市町村が共同して処理する方式があり、栄町では、共同処理方式を採用し、印西市、白井市の2市と栄町で、「印西地区環境整備事業組合」を設立し、印西市の区域に「印西クリーンセンター」という施設を設置し、広域ごみ処理事業を行っています。

その共同処理とした理由といたしましては、1つとして、市町村ごとにごみ処理施設を整備すると、それぞれの市町村で、多額の費用が必要となりますが、共同で整備することで、施設を1か所に集約して処理が可能となり、個別で施設を整備するよりも、建設費や維持管理費を削減することが出来ます。

2つとして、ごみ処理施設の規模を大型化することで、効率的な焼却処理が可能となり、焼却処理の際に発生する熱を利用した事業を行うことができます。

現在、印西地区環境整備事業組合では、発生した熱を利用してクリーンセンターの稼働だけでなく、隣接する「温水プール」の運営や、千葉ニュータウン駅周辺地区の地域冷暖房へ供給するなど、環境への影響を抑え、地球温暖化防止に貢献しています。

3つとして、広域でごみの分別方法を統一することで、リサイクルが推進されるとともに、焼却されるごみの減少にもつながることなどのメリットもあります。

このようなことから、単独で栄町にごみ処理施設を整備するよりも効率的・効果的な共同によるごみ処理事業を行っているものです。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

濱本晴輝さん。

ご答弁ありがとうございます。印西市や白井市との共同処理方式にすることで、様々なメリットがあることがわかりました。質問を続けます。

私たちは、いつもゴミを分別して捨てるようにしていますが、そのゴミの中で、リサイクルされているものが、どこで、どのように使われているのかを知りたいのですが、どこで詳しく調べることができますか。

議長。

経済環境課長。

それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

リサイクルされているものが、「どこで」「どのように」使われているかといったご質問ですが、資源物がリサイクル製品になるまでには、「収集する」、「リサイクルできない物を取り除いて圧縮梱包する」、「リサイクル製品にするための材料にする」、「リサイクル製品を作る」といった段階ごとに取り扱う事業者が異なるため、町の資源物が「どこで」「どのように」使われているかを追跡することが難しいことを、ご理解いただきたいと思います。

- 濱本議員
- 五木田議長
- 濱本議員

- 経済環境課長
- 五木田議長
- 経済環境課長

なお、資源物のゆくえですが、ただいま、答弁したような段階を経て、色々な製品に生まれ変わります。例えば、缶類はアルミ缶や鉄筋材などになります。ビンは再びビンやアスファルト舗装材などになります。ペットボトルは再びペットボトルや作業着・卵パックなどになります。プラスチック類は物流で使われるパレットやプランターなどのプラスチック製品になります。紙類や紙パックは、新聞や雑誌、トイレットペーパーなどに再生され、私たちの生活の中で使用されています。

また、布類は中古衣類として海外で再利用されたり、国内で雑巾などに使用されており、リサイクル製品につきましては、濱本議員も見たことがあると思いますが、「リサイクルマーク」で確認が出来ます。

なお、リサイクルの仕組みなど、詳しくお知りになりたい場合は、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会や産業環境管理協会資源・リサイクル促進センターのサイトで分かりやすく説明されていますので、ご利用いただければと思います。

また、ごみを分別してリサイクルすることは環境にとっても大切な事で、リサイクルを行うことを改めて考えていただく事は大事なことでありますので、リサイクルの仕組みに関するサイトの利用や、詳しく調べられる際は、経済環境課職員が丁寧にご説明をさせていただきますので、ご連絡いただければと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

濱本晴輝さん。

ご回答ありがとうございました。ゴミの処理を共同で行うことで経費の削減になることがわかりました。これで質問を終わります。

これで、濱本晴輝さんの一般質問を終わります。濱本さん、自席にお戻りください。

次に、議席番号10番、栄中学校、橋本龍一郎さんの発言を許します。橋本龍一郎さん、質問者席に移動ねがいます。

はい。議席番号10番、栄中学校、橋本龍一郎です。それでは、質問させていただきます。

近年、日本では大きい地震から小さい地震まで、様々な地震がよく起こっています。そしてこの栄町も、地震がよく起こる地域です。近いうちに南海トラフ地震も起こると言われており、とても心配です。そこで質問なのですが、例えば、今大地震が起きた場合、栄町はどのような対応を取り、町民を守るのでしょうか。

議長。

橋本町長。

それでは、橋本 龍一郎 議員のご質問にお答えいたします。

町では地震や風水害、大規模な事故に対応するため「栄町地域防災計画」を定めています。

- 濱本議員
- 五木田議長
- 濱本議員

- 五木田議長

- 橋本議員

- 橋本町長
- 五木田議長
- 橋本町長

ご質問の南海トラフ地震が発生した場合、千葉県では震度5強の揺れが起こると想定されています。

その想定に基づいて、地域防災計画の中では、職員は勤務時間内であれば業務を中断又は縮小して、また、夜間や休日の場合は、速やかに役場に参集して災害対応のための態勢をとることにしております。

同時に、町長を始めとして、各課の課長級の職員により、役場に災害対策本部を設置して、被害状況の把握と応急対策などについて協議、決定し、災害対応にあたります。

初期の段階では、町の職員を5つの部に編成して、被害状況の把握と応急復旧対応、安否確認と避難所の開設・運営、町民の皆さんなどへの情報の伝達や救援要請、被災者の救助、学校では児童生徒の安全確認などを行います。

その他、消防団員や自主防災組織、地域の住民の方などの協力をいただき、住民の皆さんの安否確認や倒壊した建物があった場合には、中に取り残された人はいないか、けが人はどうなのかなど、状況によって人命救助なども行います。

被害の規模によっては、被害状況の把握や応急対応に時間がかかる事が予想されますが、道路や水道、ガス、電気などのライフラインの早期復旧、場合によっては仮設住宅の整備など、被災した町民の方々の暮らしや生活を守るために、災害の規模等に応じた対策を実施することになります。

このように町では、町民の方々の命と暮らしを守るために、全力を尽くしてまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

橋本龍一郎さん。

ご答弁ありがとうございます。町の皆さんが、私達町民を守るために様々なことを考え、準備してくださっていることがわかり安心しましたし、とても嬉しく思いました。これから先、栄町でもし大きな災害が起きたとしたら、栄町を助けるために、私たち中学生も、可能な限りの協力をしていきたいと思えます。そこで質問です。私たち中学生が協力できることには、例えばどのようなことがありますか。

議長。

くらし安全課長。

それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

大きな地震が発生したら、まずは自分の身の安全を守る事を最優先に考えて下さい。その後に、出来る範囲で協力していただきたいと思えます。

ご質問の、災害時に中学生でも協力できる事ということですが、2011年3月に発生した東日本大震災の際には、多くの中学生が避難所で、トイレなどの掃除やごみの仕分け、洗濯の手伝い、食料の配給や生活物資などの荷物運びなど、共同生活を維持

●橋本議員

●五木田議長

●橋本議員

●くらし安全課長

●五木田議長

●くらし安全課長

するために活動していただいたという事例があります。

町では、栄中学校を含めて12カ所を避難所として指定していますので、避難が長期化した場合には、そのような協力をしていただく事も考えられます。

また、避難所以外でも、被災した家屋の後片付けの手伝いなどが考えられますが、被害の状況に応じて協力していただくことも変わってきますので、学校や町の防災訓練などに積極的に参加するなど、日頃から災害に対する知識や意識を高めて欲しいと思います。

大きな災害時には、被害にあって辛い思いをしている人達が沢山いるはずですよ。そんな時だからこそ、みんなが思いやりを持って、協力しあうことが大切ですので、議員の何か協力したいという気持ちは、とても心強く思います。

町から、協力をお願いすることもあると思いますので、その時は是非積極的に参加していただければと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

橋本龍一郎さん。

町の災害対策についての説明ありがとうございました。町民のことを考えてくださっていてうれしく思います。私たち中学生としてできる協力をしていきたいです。これで質問を終わります。

これで、橋本龍一郎さんの一般質問を終わります。橋本さん、自席にお戻りください。

次に、議席番号11番、栄中学校、岡島康汰さんの発言を許します。岡島康汰さん、質問者席に移動ねがいます。

はい。議席番号11番、栄中学校、岡島康汰です。それでは、質問させていただきます。

栄町はどの場所にも植物が生えていて、自然豊かで良いと思うのですが、中にはトゲのある植物や、手が切れるおそれのある植物も公園などで見かけます。通学路に垂れさがっている木などもあり、自転車で通行するときぶつかってしまいます。そこで質問です。現在、栄町では、町に生えている植物の管理などはどのように行っているのでしょうか。

議長。

橋本町長。

それでは、岡島康汰議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、町が樹木などの植物を直接管理しているのは公園や道路に生えているものになります。

その公園や緑地の除草は年3回、市街地の町道の除草は年2回、歩道の植栽の刈込みを年1回行うほかに、5年ごとに街路樹の剪定を行っています。

また、職員による巡回を定期的に行い、通行に障害となりうる竹林の伐採や樹木の枝の剪定を随時行っています。

●橋本議員
●五木田議長
●橋本議員

●五木田議長

●岡島議員

●橋本町長
●五木田議長
●橋本町長

この他、町の管理だけでなく公園などの清掃活動を行うアダプト制度に登録されている住民団体が28団体あり、除草のほかに駅前広場の花壇の整備や緑道、若草大橋入口の交差点、竜角寺台の栄成橋前の歩道などへの花植えなどをボランティアで行っていただいています。

なお、町内の国道や県道及び利根川堤防の除草などは管理者である千葉県や国土交通省が行っています。

一方で、道路に接する土地から越境した樹木など、これらの植物の管理はその土地の所有者が行うことになります。

このため、職員による巡回や住民の皆さんから頂いた情報を基に土地の所有者に適切な管理をしていただくよう要請しているところです。

ご質問の公園や通学路などで、通学の支障となるような垂れ下がった樹木などを発見した場合には、すぐに役場へ直接連絡いただくか、先生へ連絡していただきますようお願いいたします。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

岡島康汰さん。

ご答弁ありがとうございます。町が私達の安全のために定期的に適切に管理してくださっていることがわかりました。質問を続けます。

令和4年3月に取りまとめられました、町の第5次総合計画後期基本計画策定に関する町民意識調査結果によりますと、「町としての今後の取り組みについて」の調査項目において、「豊かな自然環境の保全」と回答した割合は全体の21.3%と、回答した町民の5人に1人は、町の緑に関心を持っていることが読み取れます。

そこで、定期的な管理にもかかわらず、植物の成長の早さに対応が追い付かないことにより生活に支障がある現状を考え、町民の参加による植物の管理を実施してはいかがでしょうか。また、ゆくゆくは「町の緑の計画」を策定して、戦略的に都市整備を進め、町が将来像として掲げる「ひとが元気 まちが元気 みんなでつくる水と緑のふるさと さかえ」の実現に、町民一体となって進んでいけばよいと思いますが、いかがでしょうか。

議長。

都市建設課長。

それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

町長からの答弁でもありましたように、町民参加による植物の管理としては、アダプト制度があります。

このアダプト制度は、皆さんの身近にある道路、公園などの除草、落ち葉拾い、ごみ収集等を自主的に実施し、町を美しく・きれいにする活動を行っていただく制度で、町はこの活動に必要な物資の支給などの支援を行っています。

現在、登録いただいている団体は28団体ありますが、どの団

- 岡島議員
- 五木田議長
- 岡島議員

- 都市建設課長
- 五木田議長
- 都市建設課長

体も高齢化や人員の確保が困難になってきている状況にあると聞いております。

このアダプト制度を継続していくためには、こうした活動に若い世代の方々が興味を持っていただくとともに参加していただけることが重要となってきますので、さらなる啓発に努め町民の参加をいただき植物の管理を行って参りたいと考えています。

併せて、近隣市町の管理方法などを参考に町民が参加しやすい管理についても研究してまいります。

次に、「町の緑の計画」の提案についてですが、町では平成6年度に公園や緑地の配置や整備の考え方及び保全に関する方針を「緑の基本計画」として策定しているところです。

今後は、特に保全に関して樹木などの剪定基準を設けるなど、植物の管理を含めた「緑の基本計画」の見直しを進めていきたいと考えています。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

岡島康汰さん。

「町の緑の計画」について説明していただきありがとうございます。町のために町民一体となって取り組んでいきたいです。これで質問を終わります。

これで、岡島康汰さんの一般質問を終わります。岡島さん、自席にお戻りください。

次に、議席番号12番、栄中学校、長沼柚夏さんの発言を許します。長沼柚夏さん、質問者席に移動ねがいます。

はい。議席番号12番、栄中学校、長沼柚夏です。それでは、質問させていただきます。

夏場、栄中学校の体育館の中は非常に暑いです。先生方いわく、印旛郡の中で最も暑い体育館だそうです。そんな体育館での運動は暑くてとても大変です。一学期後半から夏休み中の部活動、2学期の体育の際の練習期間の暑さが厳しい時期に安心して効率的・効果的な活動ができるといいなと思います。そういった体育館の熱中症対策について、いかがお考えでしょうか。

議長。

藤ヶ崎教育長。

それでは、長沼柚夏議員のご質問にお答えいたします。

栄中には暑さに負けず体育や部活動に熱心に取り組まれている中学生がたくさんいることは承知しています。ご質問にある、暑い時期の熱中症対策についてですが、教育委員会として各学校にお願いしていることに次のようなものがあります。

1つめに、日々の健康観察の充実です。特に体育や部活動前の健康観察を十分に実施して、無理をさせないように各学校の先生にお伝えしています。

2つめに、体育や部活動を実施する際は、熱中症の指標を必ず

- 岡島議員
- 五木田議長
- 岡島議員

- 五木田議長

- 長沼議員

- 藤ヶ崎教育長
- 五木田議長
- 藤ヶ崎教育長

確認してから実施することです。熱中症警戒アラート発令中等の場合は体育や部活動を実施しないことや、指標が安全圏内でも、適宜休憩をとり水分補給をするようにしています。その際には、凍らせたペットボトルを用意していただくなど、ご家庭にも協力をいただいています。

3つめとして、体育館での体育や部活動では、昨年度より各校に配置している大型冷風機を上手に活用し、体温の上昇を防ぐことです。これは気化熱を利用することで、風にあたると体を冷やすことができ、熱中症の対策に有効です。学校に聞いたところ、冷風機に水を入れずに使用しているとのことでした。各学校にはきちんと水を入れて正しく使用するように再度伝えました。エアコンには及びませんが気化熱を上手に利用して、外気より5度低い冷風を感じてもらえたら幸いです。

それ以外にも、エアコンの効いている教室を上手に活用し、休憩に利用したり、教室内でできる簡単な運動をしたりする等の授業のやり方の工夫をお願いしています。

以上、答弁といたします。

議長。

長沼柚夏さん。

ご答弁ありがとうございます。購入していただいた冷風機を、これからも有効活用していきたいと思えます。質問を続けます。

今年の夏は特に暑く、世界各地で最高気温を更新したというニュースをよく目にしました。きっと来年以降も厳しい暑さになっていくのだと思います。本校では、熱中症対策として、帽子の着用、軽装の励行を行っています。また、個人的には食事・休養をしっかりとることを心がけています。

今後、町では熱中症対策をどのように行っていくか教えてください。

議長。

健康介護課長。

それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

熱中症については、政府も現状を重く受け止めており、本年5月30日に「熱中症対策実行計画」を閣議決定し、2030年までに熱中症による死亡者数を、現状から半減することを目指す事としました。

この中で、熱中症対策として、国、地方公共団体、事業者、国民などの果たすべき役割が明記されており、町としては、国及び県と連携し、熱中症対策の推進に努めているところです。

町での取り組みの主なものとしては、何よりも住民の命を守るために、環境省より熱中症警戒アラートが発令された場合は、栄町情報メール、SNS及び防災無線等にて、住民に周知し、注意喚起を行っています。

また、熱中症予防対策としては、1つとして、町内各地域から選出され、健康づくりに関する活動を行う「栄町健康づくり推進

- 長沼議員
- 五木田議長
- 長沼議員

- 健康介護課長
- 五木田議長
- 健康介護課長

員」を通じ、地区住民に熱中症予防について啓発を図っています。
2つとして、高齢者の保健事業で、高齢者が集まっている場等において、熱中症予防に関するチラシを配布するなどし、啓発を図っています。

3つとして、高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業で、高齢者宅を訪問するなど、電話をする機会を活用して、保健師などの専門職が、直接、熱中症に対する予防、啓発を行っています。

4つとして、栄町広報紙、ホームページを活用し、熱中症予防について周知しています。

予防策としては、長沼議員からもありましたように、日頃から、バランスの良い食事と十分な睡眠による体調管理や、室内ではエアコンなどを利用して、室内の温度を28℃以下に保ち、屋外では涼しい服装で、帽子や日傘を利用するのは重要な事なので、予防啓発活動を行っていきます。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

長沼柚夏さん。

熱中症対策についてのご回答ありがとうございました。これからも暑い時期の熱中症対策に力を入れていきます。これで質問を終わります。

これで、長沼柚夏さんの一般質問を終わります。長沼さん、自席にお戻りください。

次に、議席番号13番、栄中学校、城生海都さんの発言を許します。城生海都さん、質問者席に移動ねがいます。

はい。議席番号13番、栄中学校、城生海都です。それでは、質問させていただきます。

私たちが住んでいる栄町は龍の伝説があるなど、歴史のある町ですが、栄町以外に住んでいる人達には、そのようなことはあまり知られていないのではないかと思います。そこで質問です。現在、栄町ではYouTubeなどを活用して栄町の歴史や町の魅力を紹介するなどの活動を行ったりしていますか。

議長。

橋本町長。

それでは、城生海都議員のご質問にお答えいたします。

町内には、城生議員がおっしゃるように、国指定史跡や重要文化財が所在する龍角寺をはじめ、龍角寺古墳群・岩屋古墳などの様々な歴史的資源、地域に伝わる伝統芸能や行事、また、豊かな自然環境の中で育ったおいしい米や野菜、特産品のどら豆などの農産物、その他にも利根川や長門川などの河川や里山など、貴重な資源がたくさんあります。

その魅力を町外に積極的に発信し、広く知ってもらうことは、町の活性化にとっても重要だと考えています。

ご質問の、町の歴史や魅力を知ってもらうための取り組みとし

●長沼議員
●五木田議長
●長沼議員

●五木田議長

●城生議員

●橋本町長
●五木田議長
●橋本町長

ては、1つとして、ホームページの他に、LINE、Instagramなどの公式SNSを活用し、町の歴史や観光スポット、イベント、地域の風景など、様々な情報を発信しています。また私自身も、今年から町のホームページ上で、町長フォト日記と題して町の出来事や魅力を伝えています。皆さんも各SNSのフォローや「いいね」などをお願いいたします。

2つとして、リバーサイドさかえドラムマラソンなどの町のイベントで、町外からの多くの来場者に、特産品のPRや観光関連のパンフレットの配布等を実施することや、町外の大型ショッピングセンターや、国や県などが行う物産展などで、特産品の販売や栄町のPRなどプロモーション事業を行っています。

3つとして、Bay-fmやケーブルネット296などの情報番組を活用して、特産品や町のイベント・祭りなどの魅力を広く伝えています。

しかしながら、町からの情報発信だけではなかなか広がらない面や、町職員が知らない魅力もあると思いますので、町の誇りを共有している町民の皆さんや町外の栄町ファンの皆さんに参加していただく取組も必要と考えています。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

城生海都さん。

ご答弁ありがとうございます。町の魅力を伝えるためにSNS等を活用していることがわかりました。質問を続けます。

私は学校の社会の授業で、龍角寺の特別展示について先生から紹介されました。先日、ふれあいプラザさかえに行き、布目瓦や銅製経筒などの出土遺物を、とても興味深く見学させていただきました。自分の住む町に1300年の歴史を誇る関東最古の寺院のひとつがあることに、驚くと同時にとても誇りに思いました。

そこでお尋ねします。この素晴らしい企画展をふれあいプラザさかえでの展示期間が終了しましたら、町内の4つの小学校と、最後に栄中学校でも「巡回展示」していただけないでしょうか。ぜひ町内全児童生徒に本物に接する機会をお願いいたします。

議長。

生涯学習課長。

それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

現在行っている展示は、早稲田大学をはじめ、千葉県や町の所有する資料を集めて実施しています。

ご提案いただいた「本物に接する機会」はとても重要で、町内全ての児童・生徒のみなさんに観ていただき、町の貴重な歴史に触れて欲しいと考えています。

現在の展示は、来年2月28日まで、ふれあいプラザさかえにて実施しているため、来年度以降の「巡回展示」につきましては、警備などの方法を含め、早稲田大学などと協議して参ります。

以上、答弁とさせていただきます。

- 城生議員
- 五木田議長
- 城生議員

- 生涯学習課長
- 五木田議長
- 生涯学習課長

<p>●城生議員 ●五木田議長 ●城生議員</p>	<p>議長。 城生海都さん。 「巡回展示」についてのご回答ありがとうございました。これを機に町の歴史や魅力について考えていきたいと思えます。これで質問を終わります。</p>
<p>●五木田議長</p>	<p>これで、城生海都さんの一般質問を終わります。城生さん、自席にお戻りください。</p>
<p>●高安議員</p>	<p>次に、議席番号14番、栄中学校、高安全さんの発言を許します。高安全さん、質問者席に移動ねがいます。 はい。議席番号14番、栄中学校、高安全です。それでは、質問させていただきます。 学校で生活をしていると、地域の方たちと関わる機会があまりないなと感じます。地域の人達とともに、栄中学校を今よりもさらに居心地の良い学校にしていきたいと思うので、交流の機会を作ることも大切だと思います。そこで質問です。例えば、栄町にはどらまめという名産品があるので、それらの調理を地域の人で行ったり、生徒や地域の人の特技を披露したり、経験談を話したりする行事があると、地域の一体感が生まれるかなと思うのですが、町としてはいかががお考えでしょうか。</p>
<p>●藤ヶ崎教育長 ●五木田議長 ●藤ヶ崎教育長</p>	<p>議長。 藤ヶ崎教育長。 それでは、高安 全議員のご質問にお答えいたします。 町内小中学校の児童・生徒と地域の方々との関わりについては、高安議員のおっしゃるとおり、地域との交流の機会をさらに増やすことで、学校への理解が深まり一体感が生まれ、地域の力を活かした学校運営ができるようになると考えております。 そこで町では、今年度4月よりコミュニティ・スクールを全小中学校に導入し、「学校と保護者や地域住民が一体となって、児童・生徒の皆さんが過ごしやすい学校づくり」ができるよう取り組みを始めたところです。コミュニティ・スクールでは、学校・職員・保護者・地域の方々が「学校運営協議会」に参加し、学校と地域の共通した目標を確かめ合い、同じ目標に向かってお互いが役割を分担しながらさまざまな取り組みを行うこととしております。その中でも、各小学校の地域で組織するふれあい推進委員会等が「登下校の見守り」や「プリントの丸付け」、「花壇の整備」など、児童との交流を深めながら学校生活のサポートを行っております。 今後は、栄中学校でもコミュニティ・スクールを進めていき、その中で、どらまめ生産者と一緒に「どらまめ料理」を作る交流会や「地域で得意な技術や技能」をお持ちの方から教えていただくイベント、「地域の方の様々な経験談交流」など、特色のある交流活動が推進できるよう、サポートして参りたいと考えております。</p>

<p>●高安議員 ●五木田議長 ●高安議員</p> <p>●生涯学習課長 ●五木田議長 ●生涯学習課長</p> <p>●高安議員 ●五木田議長 ●高安議員</p> <p>●五木田議長</p> <p>●芝原議員</p>	<p>また、「伝統文化」や昔から伝わる「民話・伝説」なども、地域の方々によって伝承されておりますが、中でも昨年度は、栄町に伝わる「龍伝説」の絵本を作成しましたので、町が行うイベントの中で、「中学生が行う読み聞かせ」など、実施していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>以上、答弁といたします。</p> <p>議長。 高安全さん。</p> <p>ご答弁ありがとうございます。「コミュニティ・スクール」によって、これから栄町が一体となって学校づくり、町づくりがなされていくことに期待しています。質問を続けます。</p> <p>地域の方たちとより気軽に、頻繁に関わるためには、それに相応しい「場」の設定が肝心だと考えます。</p> <p>そこで伺います。栄中学校の生徒と地域の方が交流できる「サロン」のような空間を、まずは栄中学校を拠点にスタートし、いずれは4つの小学校にも同様の施設を展開してみたいかでしょうか。学校には現在生徒数の減少により、授業等で使用していない教室などがあります。交流サロンにすることで空き教室の有効活用にもなります。いかがでしょうか。</p> <p>議長。 生涯学習課長。</p> <p>それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。</p> <p>町内の各小学校区では、地域の方々と組織する「自治会」や「ふれあい推進委員活動」など、様々なコミュニティが存在し、地域住民の交流などを行うイベントを実施しています。</p> <p>高安議員をはじめ、多くの中学生のみなさんに、この地域の取組に積極的に参加していただくことで、地域コミュニティ活動が活性化されるものと期待しております。</p> <p>また、「サロン」などの交流の場につきましては、放課後の居場所づくりなどを含め、関係各課と相談して参りたいと考えております。</p> <p>以上、答弁とさせていただきます。</p> <p>議長。 高安全さん。</p> <p>地域の方との交流についてのご回答ありがとうございました。これからは積極的に地域の方と交流していきたいと思っております。これで質問を終わります。</p> <p>これで、高安全さんの一般質問を終わります。高安さん、自席にお戻りください。</p> <p>次に、議席番号15番、栄中学校、芝原悠爾さんの発言を許します。芝原悠爾さん、質問者席に移動ねがいます。</p> <p>はい。議席番号15番、栄中学校、芝原悠爾です。それでは、質問させていただきます。</p>
--	---

- 藤ヶ崎教育長
- 五木田議長
- 藤ヶ崎教育長

現在、ふれあいプラザさかえの中に図書室がありますが、蔵書の種類が児童書や難しい本などが多く、小説などの種類の本が少ないと感じます。また、ふれあいプラザの中には自習室がありますが、定期テスト前になると人が多くなってしまうので、多くのスペースのある自習室があると良いと感じます。そこで提案です。栄町に新たに図書館を作り、その中に自習室を併設していただければ、小中学生向けの本も増やせますし、学習環境も充実すると思うのですが、いかがでしょうか。

議長。

藤ヶ崎教育長。

それでは、芝原悠爾議員のご質問にお答えいたします。

いつも、ふれあいプラザさかえの図書室をご利用いただき、ありがとうございます。現在、図書室の蔵書数は、全体で約5万9千6百冊ありますが、そのうちライトノベルと呼ばれる若者向けの小説は約600冊しか蔵書していない状況です。

図書の購入につきましては、今までの貸出し状況を見ながら司書が図書の選定を行っておりますが、現在はライトノベルと呼ばれる図書のニーズが少ない状況ですので、今後、相互貸借の予約状況により購入の検討をしております。

この相互貸借とは、図書室に蔵書していない図書について、千葉県内の図書館ネットワークにより、お互いに貸し借りする制度となっております。

次に、ご質問の「新たに図書館を作ること」につきましては、多額の建設費や維持費がかかるため、新たに図書館を建設する予定はありません。

また、ご質問の「自習室を併設していただけること」につきましては、現在のふれあいプラザさかえには「資料閲覧室」が設置されておりますが、自習室の機能を含めた形で、多くの皆様に利用いただいております。

芝原議員がおっしゃるとおり、定期テスト前には利用者が増えておりますが、対策として利用頻度が多くなる時期において、ふれあいプラザさかえ内の「空き部屋を開放する」など、「利用者混雑の解消」を図っているところでございます。

今後は、ふれあいプラザさかえ内の各部屋の「利用方法の検討」や、図書室を町民の皆様が利用しやすくするための「新しい空間づくり」など、工夫を凝らしながら「学習環境を充実」させていきたいと考えております。

以上、答弁いたします。

議長。

芝原悠爾さん。

ご答弁ありがとうございます。自習室の併設について、空き部屋の活用を検討していただいていることがわかりました。質問を続けます。

この夏、同級生が町の主催する日本食研基金中学生海外派遣事

- 芝原議員
- 五木田議長
- 芝原議員

業でオーストラリアに研修に行ってきた、たくさんの写真を見せてくれました。

その写真の中に、ビクトリア州立図書館がありました。ビクトリア州立図書館は、「死ぬまでに一度は訪れたい図書館」と言われている、世界で最も美しい図書館のひとつだそうです。

ですが私が一番興味を引かれたのは、美しい建物ではなく、図書館内に設置されている机の形でした。ビクトリア州立図書館には、共同研究する利用者のために、グループ用の机が設置されていて、各机には電源コンセントと USB ハブが完備、館内の無料 Wi-Fi も整備されているそうです。利用者がパソコンを持ち込んでの共同作業を想定してデザインされているのだなと思いました。

私達も、学校では個人で進める学習だけでなく、グループでの調べ学習やプレゼンテーションなど、いわゆる「協働的な学び」が多くなっています。放課後や休日に、気軽にチームの仲間と集まり、町から 1 人 1 台配付していただいているタブレットを広げて学び合いができるテーブルがふれあいプラザさかえにあれば、探求的な学びを進めることができるのですが、いかがでしょうか。

議長。

生涯学習課長。

それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

芝原議員のおっしゃるとおり、個人で進める学習や、グループで「協働的な学び」に取り組むことは大変重要であり、必要であると考えております。

そこで、「協働的な学び」の機会の創出のため、皆さんが学校で活用しているタブレットが使用できるよう、無料 Wi-Fi の充実に向けた調整を行っていきます。

また、利用者が気軽に集えるテーブルの設置や、コンセント・USB ハブなど、付随する設備の設置につきましても、併せて検討して行きたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長。

芝原悠爾さん。

図書館についてのご回答ありがとうございました。今後も積極的に図書館を利用させていただきたいと思っております。これで質問を終わります。

これで、芝原悠爾さんの一般質問を終わります。芝原さん、自席にお戻りください。

これで、一般質問を終わります。

<一般質問終了>

本日は、私たち小・中学生の町へ対する質問について、とても丁寧に答えてくださり、ありがとうございました。

●生涯学習課長

●五木田議長

●生涯学習課長

●芝原議員

●五木田議長

●芝原議員

●五木田議長

●五木田議長

<p>●五木田議長</p> <p>●五木田議長</p> <p>●藤江議会事務局長</p>	<p>私は、この会を進めていく議長というとてもやりがいのある仕事をさせていただきました。議員の小中学生や町執行部の皆様のご協力のおかげで、無事、この子ども模擬議会を終えることができました。本当にありがとうございました。</p> <p>実際に議会が行われているこの場所で、私たち小・中学生が議会同様に質問し、町長や教育長、町執行部の方々に答弁していただけるのはとてもいい経験になりました。</p> <p>この経験を学校生活に活かしていきたいです。また、地域の課題や疑問について質問することで、栄町に対する関心が深まり、より身近に感じられました。これからは、町の活動や行事に今までよりもさらに積極的に参加していきたいと思いました。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p> <p>これで、本日の日程はすべて終了いたしました。 本日の会議を閉じます。</p> <p style="text-align: center;">＜閉会宣告＞</p> <p>これをもって、令和5年度子ども模擬議会を閉会といたします。小・中学生議員及び町執行部の皆様、お疲れ様でした。</p> <p>起立。礼。</p>
--	--

16時00分 閉会

上記の会議録を証するために、下記に署名いたします。

令和5年 11月 29日

議 長 栄町立栄中学校 五木田 莉音

署名議員 栄町立栄中学校 芝原 悠爾

署名議員 栄町立栄中学校 高安 全